

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年12月27日（水）
- 2 確認箇所
大型廃棄物保管庫（5／6号機北側造成地）
- 3 確認項目
大型廃棄物保管庫の状況

4 確認結果の概要

東京電力は、現在屋外で一時保管している使用済セシウム吸着塔を屋内で保管するため、5／6号機北側造成地に大型廃棄物保管庫を整備している。

令和4年11月、原子力規制委員会です承された「東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における耐震クラス分類と地震動の適用の考え方」を踏まえて、東京電力は大型廃棄物保管庫の耐震クラスの見直しを行い、建屋の耐震補強工事、クレーン及び架台の設計見直しを行うこととしている。

今回は、東京電力の担当者から大型廃棄物保管庫耐震補強の検討状況を聴取し、担当者とともに大型廃棄物保管庫の現況を確認した。（図1）（前回確認：令和5年3月7日）

（聴取内容）

- ・大型廃棄物保管庫内部には第二セシウム吸着装置（SARRY）吸着塔を540体保管する計画としている。
- ・耐震補強については、原子力規制庁と最終的な調整中。今後の予定として、大型廃棄物保管庫建屋耐震補強内部工事を令和5年度中に開始し、供用可能になる建屋北側から令和6年度中に吸着塔の受け入れを開始する。耐震補強が完了するのは令和7年度になる予定。

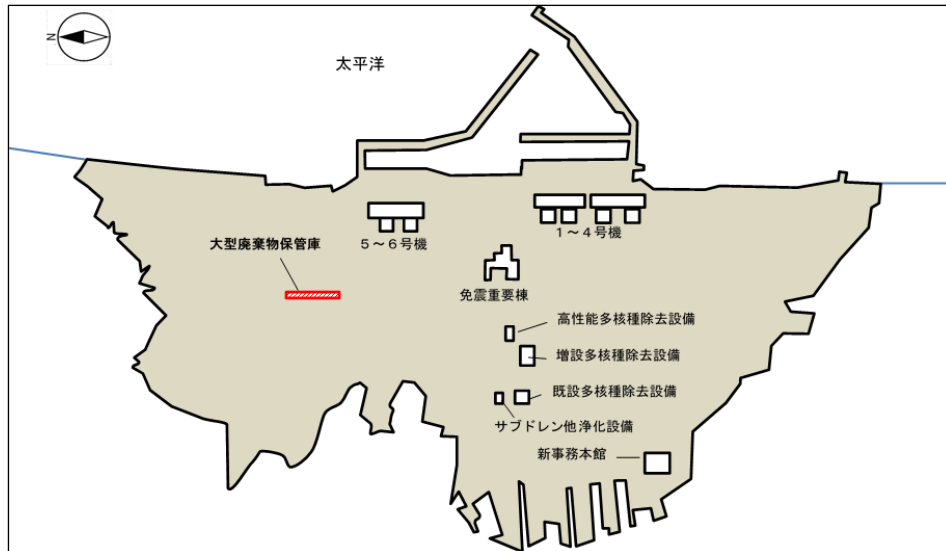
（現地確認内容）

- ・耐震補強を行う前の大型廃棄物保管庫建屋としては、ほぼ完成しており、内部の状況を含め確認した。（写真1）
- ・これから行われる予定の建屋の耐震補強（建屋内側の壁面にブレース¹追加、建屋東側にバットレス²設置）について、現地の状況を確認した。（写真2）（写真3）

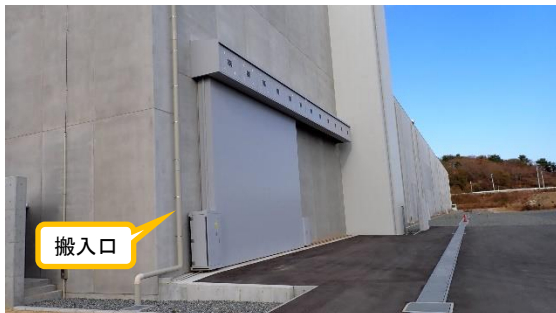
¹ 建築で使用される補強材。筋交いとも呼ばれる。

² 壁面の垂直方向に設置される控え壁のこと。今回の大型廃棄物保管庫では、鉄骨で構成される予定。

- ・ 建屋北側に設置されている別棟の給気設備室、電気設備室の状況を確認した。（写真4）
- ・ 建屋2階に設置されている排気設備の状況を確認し、付随して設置されている水素モニタ、ダストサンプラの状況を確認した。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
大型廃棄物保管庫の外観①（南東側から撮影）



(写真1-2)
大型廃棄物保管庫の外観②（北東側から撮影）



(写真1-3)
貯蔵エリアの状況（北東側から撮影）



(写真2)
建屋内部の既設ブレースの状況とブレース設置予定箇所（現在ブレースがない場所にブレースを設置する予定）



(写真3)
建屋東側バットレス設置予定箇所（砂利が敷かれている場所）



(写真4-1)
給気設備の状況



(写真4-2)
別棟内部電気設備の状況



(写真5-1)
建屋2階排気設備の状況



(写真5-2)
水素モニタの状況



(写真5-3)
ダストサンプラの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。